



須坂市 蔵の町なみキャンパス

～須坂市蔵の町なみを訪ねて～

長野県立大学

Nguyen Canh Tan

Goi Shinyuan

設楽魅夢

須坂市訪問

訪問日：2022年10月24日（月）

訪問者：谷口 眞由実先生、夏丹先生、

Nguyen Canh Tan、Goi Shinyuan、設楽魅夢

場所：須坂クラシック美術館

旧越家住宅

豪商の館田中本家博物館

旧小田切家

須坂アートパーク世界の民俗人形博物館

歴史的建物園

日本人の遊び心

厄除けの桃

(旧小田切家住宅)

魔除けのイメージがある桃

旧小田切家では、鬼門の方角からの鬼を封じるため桃の石像を置く。

この構図が、鬼を退治する「桃太郎」と重なる。



桃

釘隠し・傷隠し（須坂クラシック美術館）

- ・ 長押に打った釘を隠すための釘隠し（松、鶴 など）
- ・ 階段に使われた木材の傷を隠すための傷隠し「鯉の滝登り」



「釘隠し」



「傷隠し」

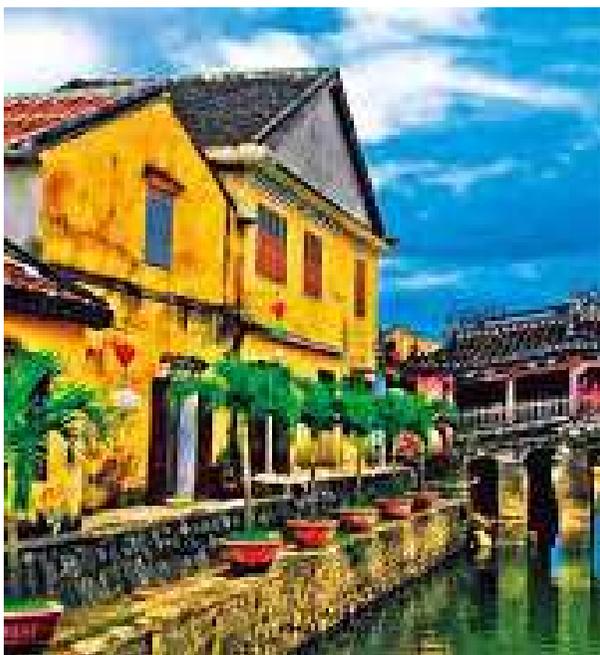
美しい日本庭園

田中本家博物館

江戸時代中期の天明年間（1780年代）に京都から庭師を呼んで作庭された



「池泉回遊式庭園」



ホイアン旧市街

歴史

- ベトナムのクアンナム省にある、世界文化遺産
- 400年以上も変わらない街並み
- ホイアン市ではかつて、国際港として盛んでした。

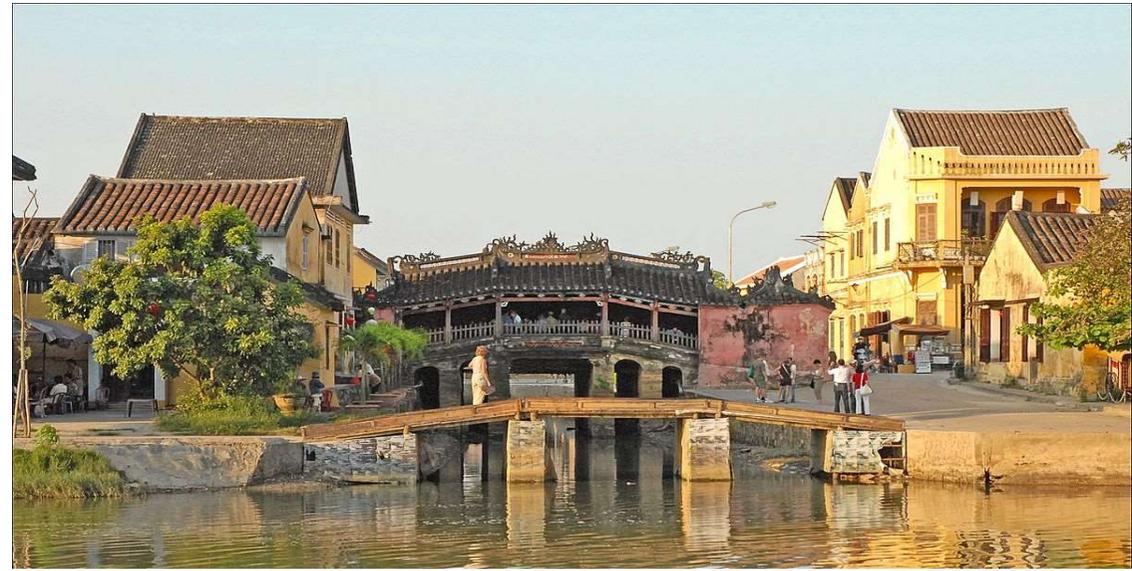
魅力

- ノスタルジック感がすごい（若者にとっては写真を撮る人気なスポット）
- 買い物を楽しめる





タンキーの家



日本橋

ホイアンはかつて、多くの中国人や日本人が住んでいた街だった。

➡日本橋やタンキーの家などの人気の観光スポットは明らかに海外の建築スタイルが混じっている。

買い物

商品

- ベトナムの伝統工芸品
- ホイアンシルクなどが有名

さらに、シルクからローカルの職人によって、テーラーで服を作ってもらうこともできる



陶俑



シルク

須坂市とペナン島との 歴史的建造物の保護の違い

文化財の保護対策

貴重な国民的財産を認識してもらうため、文化庁は文化財に対する保存修理・防災施設の設置、史跡等の補助を行っている。

須坂市では文化財を守るために、博物館を建てたり、政府の支援をもらったりして、人々が鑑賞しやすい環境がかなり整えられている。

それに対して、マレーシアの政府は文化財を保護する対策も実施しているものの、日本のように細かなところまで補修していないとみられる。

約2割～3割の建物が外資企業や地域の不動産会社を買われてしまい、文化財の保護が実施できなくなったという。

ペナン島で取り壊された歴史的建造物

(ジョージタウン、2023年1月11日)

戦前のバンガローが取り壊されており、遺産の重要性に対する当局の無知の例であると歴史家を怒らせている。

クローブホールロードにある建物は、植民地時代の記録によると100年以上の歴史がある。屋根やその他の構造物が廃墟となった。そのため、解体作業はペナン島市議会によって承認された。

ペナン・ヘリテージ・トラストのコイ・サルマ・ナスティオン副社長は、国家がユネスコに指定される前に、遺産を保護する政治的意図を欠いていたことは残念だと述べた。

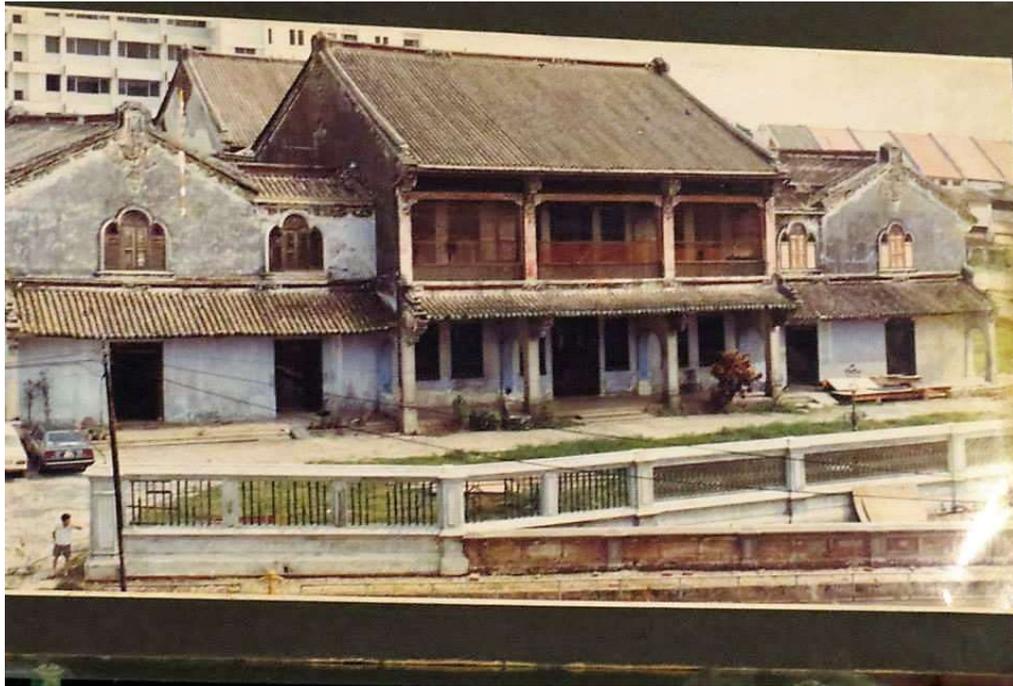


参考文献：FMT、{Another heritage building torn down in Penang}、

<https://www.freemalaysiatoday.com/category/nation/2023/01/11/another-heritage-building-torn-down-in-penang/> 2023年2月1日

チョン・ファツ・ツィーマンション

- マレーシアのペナン島の世界遺産。
- 「東洋のロックフェラー」の異名をとった中国の実業家・政治家、チョン・ファツ・ツィー氏によって1880年代に建てられた大邸宅。
- 部屋へ向かうまでの空間も青い世界に包まれて、外の世界とはまるで違う空気感に、異次元にでもワープしてしまったよう。部屋の角度は配置はもちろん、上下の段差や柱の数、細かい文様の全てが厳密な風水に沿って建てられている。
- チョン一族は、一代で財を成した大富豪一族にありがちな「衰退」をたどり、この大邸宅は一部を市民たちに貸したりしたこととも要因となって、だんだん廃墟化してしまった。
- 近年に入り、遺産保護グループにより大がかりな修復作業が行われたことで、ブルーマンションは往時の面影が甦ったと言われた。



修復される前の写真



現在の建物（ホテル）



須坂市を訪問して

- 須坂市には歴史的建造物が数多く残るからこそ、今回の訪問で日本の建築物の美しさや隠れた面白さがあることに気づくことができました
- 現存する建物を活かして、美術館にしたり展示を行ったりしていることで、よりその当時を感じることができるのが魅力的でした
- 優しい日本語や様々な言語で説明があると、より多くの人々が難しい専門用語も楽しむことができるのではないかと思います
- 須坂市のツアーはすごく教育的で日本や須坂市の文化をより多くの人に伝えられると思いましたが、何か須坂市のものを販売し、皆がショッピングを楽しめたらいいなと思いました
- マレーシアならではの地域文化財を守るために、日本だけでなく世界中が実施している対策を参考にすると、良い方法が見つかるのではないかと思います